



～早房会長よりご挨拶～



万葉の昔から親しまれている富士山を背に、砂浜と松の緑が映える、子どもから高齢者までみんなが楽しく元気に暮らせるまちが田子浦地区です。人口減少、空家問題、交通問題、防災対策など様々な問題もありますが、「富士山、みなと、松林 みんなで創ろう未来の田子浦」を地区の将来像として、安全・安心で誰もが暮らしてよかったと思える住みよいまちにするため、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

■住民の皆様へ

本検討会では、今後、子どもや孫の世代のためにも、本地区がより良いまちとなるための協議・検討を進めてまいります。検討会や、計画策定に関するご質問やご意見等については、下記までお寄せください。

富士市 都市整備部 都市計画課
TEL : 55-2786 FAX : 51-0475 Mail : toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp

田子浦地区まちづくりニュース 第1号

発行日：平成29年 8月20日 発行：田子浦地区まちづくり計画検討会
(事務局：富士市都市整備部都市計画課)



今年度、都市計画マスタープランに基づく地区別計画として、地区の皆様と行政の協働により、地区の実情を踏まえたまちづくりを推進するため、「田子浦地区まちづくり計画」を策定することとなりました。

田子浦地区においては、平成27年度に地区の目指すべき将来像を共有し、地区が一体となった継続的なまちづくり活動を進めていくための”道しるべ”として「まちづくり行動計画」が策定されました。

今回策定する「田子浦地区まちづくり計画」は、「まちづくり行動計画」を補完し、地区住民の皆様だけでは解決できない課題を踏まえ、ハード・ソフトの両面から地区と行政の協働によるまちづくりを推進するための総合的な計画になります。

この計画は、今後のまちづくりを地区の皆様と一緒に進めるための重要な計画となりますので、計画の策定過程を『田子浦地区まちづくりニュース』として、随時皆様に情報提供していきたいと考えています。

そこで、『田子浦地区まちづくりニュース』の第1号として、第1回検討会（5月30日(火)開催）、第2回検討会（6月17日(土)開催）、第3回検討会（7月27日(木)開催）の内容について皆様にお知らせいたします。

第1回検討会を開催しました（5月30日(火)開催）

■検討会の構成

検討会は54名の田子浦地区在住の委員で構成されています。役員として、会長に早房照芳氏、副会長に山田正廣氏、遠藤幸造氏が決定しました。また、オブザーバーとして、富士市議会議員の佐野智昭氏、萩野基行氏が就任されました。



■検討会規約の承認

規約（案）について確認し、承認されました。

田子浦地区まちづくり計画検討会規約（一部抜粋）

- (目的)
第2条 この検討会は、田子浦地区の将来像やまちづくりの方針等を定める「田子浦地区まちづくり計画」（以下「計画」という）を策定することを目的とする。
- (組織)
第4条 検討会は、田子浦地区に在住又は在勤する者で組織する。
(会長及び副会長)
- 第5条 検討会に、会長1名、副会長2名を置く。
- (任期)
第7条 委員の任期は、平成29年5月30日から計画策定までとする。

■検討会委員の自己紹介

次回以降の検討会に向け、同じグループの委員の皆さんで自己紹介と住んでいる区の良い所、困っている所を挙げてもらいました。その後、第2回検討会で行うタウンウォッチングのために、自己紹介での意見を参考に、見て回りたい具体的な場所の相談を行い、第1回検討会は終了しました。

第2回検討会を開催しました（6月17日(土)開催）

第2回検討会では、地域の魅力や問題点を確認するため、**タウンウォッチング**を行いました。**タウンウォッチング**とは、テーマを設定しまちの中を歩き観察することで、**地域の実状を把握する手法**です。今回、田子浦地区を4つのエリアに分け、各グループがまちの現状を把握し、**地域の優れた資源や環境を発見するとともに、様々な問題点が確認**できました。

◆Aグループ(東宮島区・下川成区・宮島新田区・助六区)◆



◆Bグループ(前田区・川成島区・柳島区・柳島日東区)◆



◆Cグループ(中丸浜区・中丸丘区・新浜区・江川区)◆



◆Dグループ(前田新田区・鮫島区・小須区・田子区)◆



第3回検討会を開催しました（7月27日(木)開催）

第3回検討会では、前回の**タウンウォッチング**の内容を補足するかたちで、田子浦地区全体の魅力や問題点を確認しました。そして、そこで挙げられた魅力や問題点、**タウンウォッチングの結果や「田子浦地区まちづくり行動計画」**の内容から、田子浦地区のこれからのまちづくりに必要なことを検討しました。

○検討会におけるグループ分けについて○

検討会では、各区の実状を踏まえ、よりきめ細かな視点を持ち話し合いを進めるため、田子浦地区全体を町内会単位で4つのグループに分け、検討会を進めています。

グループ分けは次のとおりとなります。

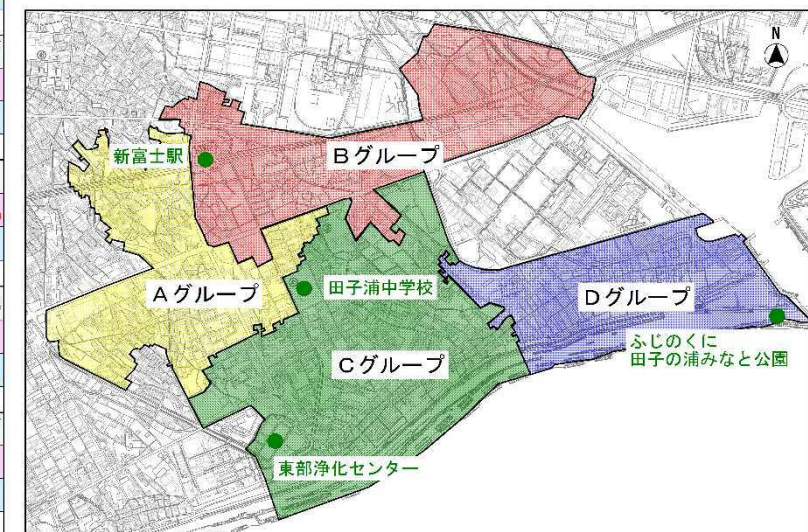
Aグループ：東宮島区・下川成区・宮島新田区・助六区

Bグループ：前田区・川成島区・柳島区・柳島日東区

Cグループ：中丸浜区・中丸丘区・新浜区・江川区

Dグループ：前田新田区・鮫島区・小須区・田子区

〈エリア分けマップ〉



項目	田子浦地区の現状	これからのまちづくりに必要なこと
保健体育	スポーツの機会 ・堤防や松林などウォーキングやジョギングなどスポーツに親しみやすい環境がある。 ・軽スポーツやレクリエーションを楽しむ機会は有る。PRが足りない、関心が無い等の理由では？	スポーツの機会創出 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 7票
	健康増進 ・地区でプールを持っているのは、すばらしい。とても珍しいこと。 ・健康増進についてのPRが足りてない。イベントを知らない子供も多い。	健康増進に関する取組の推進 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 8票
防災	地震・防災対策(ハード面) ・津波防潮堤(17m高)が築かれている。 ・公会堂が防災拠点になっているが、周辺の道が狭くブロック塀も多いため危ない。	防災・減災まちづくり(ハード)の推進 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 17票
	地震・防災対策(ソフト面) ・9月の津波避難訓練時、中学生と幼稚園生が手を取り参加する。 ・防災に関する意識が薄れてきている。	防災・減災まちづくり(ソフト)の推進 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 15票
安全	生活道路の通行環境 ・防犯灯のLED化に取り組んでいる。 ・地区全体的に道が狭く、救急車や消防車が通行できない場所もある。	生活道路の安全な通行環境の形成 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 31票
	交通量 ・イオンの買物客や観光客の増加に伴う流入車両の増加。	交通量の増加への対応 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 5票
	交通ルール ・細い道路を減速せずに通行する車がいる。通過車両が多い。	交通ルールの順守促進 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 10票

青字：良い点 赤字：悪い点
※田子浦地区の現状は委員意見の抜粋となります。

項目	田子浦地区の現状	これからのまちづくりに必要なこと
青少年育成	青少年の見守り ・小学校と中学校が1対1であり、まとまりが強い。 ・最近、小中学生を相手にした不審者が多い。バイパス沿いだから外部者から目につきやすい。	青少年の見守り体制の強化 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 8票
	通学路 ・通学の見守り活動をしている。 ・小学校と中学校の通学路が異なる。一緒にした方が、安全ではないか。	通学路の安全性の確保 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 20票
環境(地域資源)	空地・空家 ・管理されていない空地・空家がある。	空地・空家増加への対応 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 14票
	騒音・振動 ・道は狭いが、一般車両が来ないため、静かな住環境。 ・新幹線による振動・騒音がある。	騒音・振動に対する対応 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 2票
福祉	用水路等の溢水、床上・床下浸水被害 ・道路の冠水がある。 ・前田町広堀が頻りに溢水する。	用水路等への溢水、床上・床下浸水被害への対応 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 11票
	新富士駅周辺 ・新富士駅の高速バスの利便性が良い。 ・富士駅～新富士駅間のアクセスが悪い。	新富士駅周辺の視点性の強化 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 23票
文化	ゴミ捨てに関するルール ・田子浦小学校周辺はゴミがとて最少なくて綺麗。 ・ゴミ捨て場の使用マナーが悪い。	ゴミ捨てに関するルール順守促進 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 15票
	ペットに関するマナー ・動物のフンの問題が多い。	ペットに関するマナー順守促進 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 9票

項目	田子浦地区の現状	これからのまちづくりに必要なこと
環境(地域資源)	主な地域資源 ・田子の浦漁港漁協食堂やふじのくに田子の浦みなと公園が多くの人で賑わっている。 ・漁協やみなと公園への路線バスのアクセスが悪いため、観光客が行きづらい。	これからの地域資源の保全・活用 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 28票
	自然環境 ・海と松林などの自然が豊かである。 ・河川の生物が減少している。	自然環境の保全・活用 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 19票
福祉	富士山への眺望 ・田畑が広く残されている住宅地や海岸沿いからの富士山への眺望が良い。	富士山への眺望の保全・活用 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 13票
	松林 ・松林は地区で300～350年の歴史がある。 ・松枯れや本数の減少がある。	松林の保全・活用 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 16票
地域活動	高齢者の生活環境 ・田子浦地区は悠楽クラブの加入者が多いため、助け合いの精神がある地区だと思える。 ・高齢者の増加に伴うフォローが不足している。	高齢者の良好な生活環境の創出 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 12票
	地域活動 ・田子浦地区は地域活動が盛んに行われている。 ・地域活動への参加者や地域の役員のなり手が不足している。	地域活動の活性化 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 21票
文化	地域のPR ・みなと祭りのポスターが多くの地域に貼られており、来場者も多かった。 ・地域活動への参加者や地域の役員のなり手が不足している。	地域のPR活動促進 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 15票
	歴史資源 ・田子浦地区には、万太郎塚・観音様(馬頭観音)・前田浅間神社・ディアナ号等の様々な歴史資源がある。	歴史資源の保全・活用 A ●●●● B ●●●● C ●●●● D ●●●● 12票